

オーストラリア・ リアルアセット・ ファンド

運用報告書（全体版） 第11期

（決算日 2022年2月3日）
（作成対象期間 2021年8月4日～2022年2月3日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合		
信託期間	2016年8月4日～2026年8月3日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券	
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ．オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ．オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ．オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

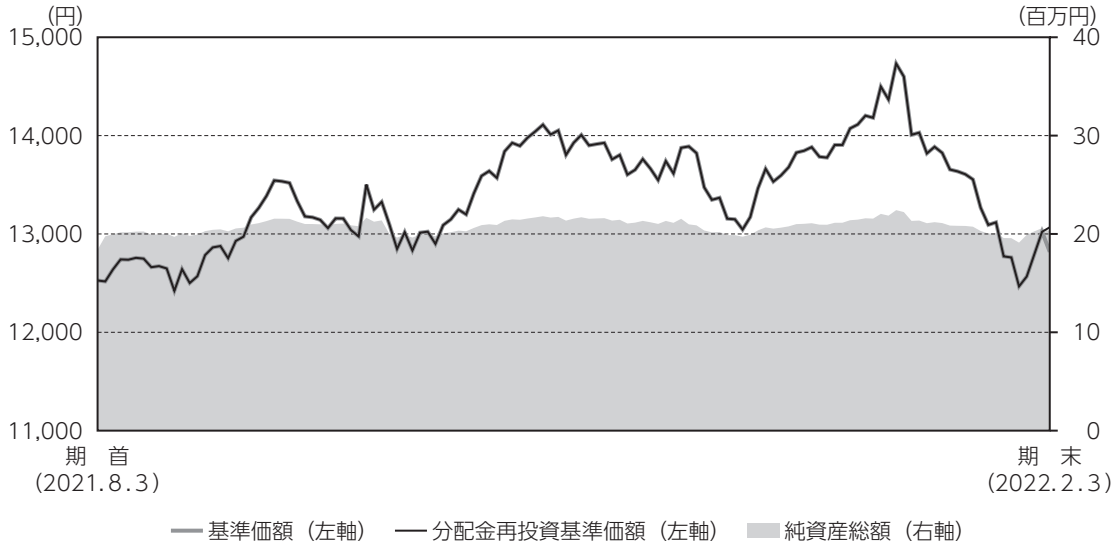
決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算)		S & P オーストラリア REIT 指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
7 期 末 (2020 年 2 月 3 日)	12,372	140	1.8	14,052	6.3	12,824	1.7	19.4	－	77.4	1
8 期 末 (2020 年 8 月 3 日)	10,705	120	△12.5	12,539	△10.8	10,062	△21.5	18.6	－	78.5	3
9 期 末 (2021 年 2 月 3 日)	12,553	180	18.9	15,308	22.1	12,417	23.4	19.5	－	78.3	15
10 期 末 (2021 年 8 月 3 日)	12,527	1,300	10.1	17,395	13.6	14,412	16.1	18.3	－	80.5	18
11 期 末 (2022 年 2 月 3 日)	12,818	250	4.3	16,967	△ 2.5	15,285	6.1	15.6	－	81.0	20

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注 3) S & P オーストラリア REIT 指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア REIT 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P オーストラリア REIT 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注 4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 7) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期首：12,527円

期末：12,818円（分配金250円）

騰落率：4.3%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

新型コロナウイルスのワクチン接種が進む中、経済正常化への期待感が高まり、当ファンドの主要投資対象であるオーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇し、基準価額は上昇しました。為替についても、オーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S & PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2021年 8 月 3 日	円 12,527	% －	17,395	% －	14,412	% －	% 18.3	% －	% 80.5
8 月末	12,972	3.6	17,436	0.2	14,987	4.0	18.0	－	79.6
9 月末	12,847	2.6	16,925	△2.7	14,743	2.3	17.4	－	80.4
10月末	14,052	12.2	18,592	6.9	16,407	13.8	17.0	－	82.1
11月末	13,347	6.5	17,272	△0.7	15,680	8.8	16.2	－	82.7
12月末	14,498	15.7	18,392	5.7	17,149	19.0	15.6	－	83.6
2022年 1 月末	12,567	0.3	16,591	△4.6	14,720	2.1	15.8	－	82.5
(期末)2022年 2 月 3 日	13,068	4.3	16,967	△2.5	15,285	6.1	15.6	－	81.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.8.4～2022.2.3)

■オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は上昇しました。

オーストラリア・リアルアセット市況は、当作成期首から2021年8月末にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展していることやおおむね堅調な決算発表が好感される形で、上昇傾向となりました。9月から10月前半にかけては、長期金利の上昇などを受けて軟調な展開となりましたが、10月後半から11月後半にかけては、ワクチン接種の進展などを背景に行動規制が緩和されて業績改善への期待感などが広がり、上昇しました。11月末から12月初めにかけては、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念が高まり下落しましたが、その後12月末にかけては、変異株への懸念が後退したことや好調な業績動向などが好感されたことなどから、上昇しました。2022年1月から当作成期末にかけては、高まるインフレ圧力を背景に金利が上昇傾向となって投資家のリスク回避姿勢が強まり、リートを含む株式市場全般が下落傾向となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

■為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2021年9月にかけてのオーストラリア・ドルは、対円でおおむね横ばいでの推移となりました。10月は、物価の上昇などを背景に各国中央銀行が金融政策の調整に動き出す中、日本と主要先進国との金融政策の方向性の違いに注目が集まり、円は主要通貨に対して下落しました。オーストラリア・ドルは資源国通貨としてコモディティ価格の上昇がポジティブに働きやすいこともあり、対円で上昇しました。11月は、鉄鉱石価格が下落傾向となったことに加え、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、対円で下落（円高）しました。12月は、鉄鉱石価格が反発したことや投資家心理の改善などを背景に、対円で上昇傾向となりました。2022年1月から当作成期末にかけては、世界的な投資家心理の悪化などを背景に、対円で下落傾向となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

ポートフォリオについて

(2021.8.4～2022.2.3)

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

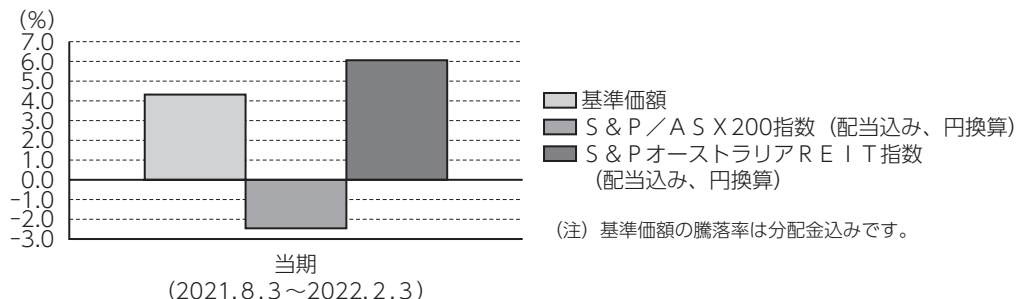
■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートのCHARTER HALL GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年8月4日 ～2022年2月3日	
当期分配金（税込み）（円）	250	
対基準価額比率（％）	1.91	
当期の収益（円）	250	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配対象額（円）	3,250	

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	194.40円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	297.53
(c) 収益調整金		2,739.71
(d) 分配準備積立金		269.11
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		3,500.76
(f) 分配金		250.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		3,250.76

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2021.8.4～2022.2.3)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	110円	0.823%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,410円です。
(投 信 会 社)	(54)	(0.402)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(54)	(0.402)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.019)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	6	0.047	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.008)	
(投資信託証券)	(5)	(0.039)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	10	0.075	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.025)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(6)	(0.047)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	127	0.945	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

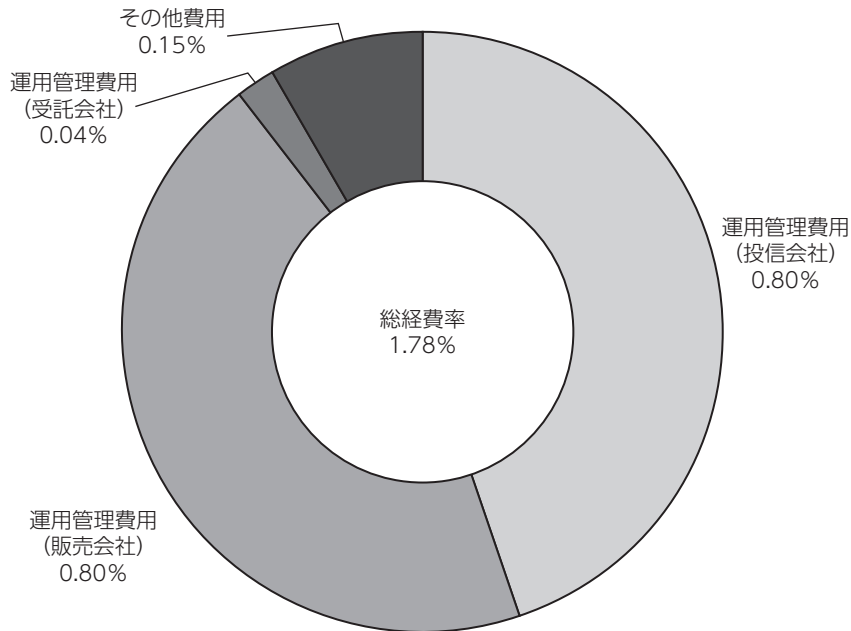
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年8月4日から2022年2月3日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアル アセット・マザーファンド	2,096	3,352	1,800	2,964

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合
(2021年8月4日から2022年2月3日まで)

項 目	当 期
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	64,193千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	353,758千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.18

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
オーストラリア・リアル アセット・マザーファンド	11,735	12,031	19,839

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年2月3日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	19,839	95.0
コール・ローン等、その他	1,044	5.0
投資信託財産総額	20,883	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月3日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル＝81.45円、1 ニュージーランド・ドル＝75.78円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (1,967,014千円) の投資信託財産総額 (1,968,829千円) に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年2月3日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	20,883,312円
コール・ローン等	983,195
オーストラリア・リアルアセ ット・マザーファンド(評価額)	19,839,139
未収入金	60,978
(B) 負債	612,670
未払収益分配金	395,361
未払解約金	45,598
未払信託報酬	171,182
その他未払費用	529
(C) 純資産総額(A－B)	20,270,642
元本	15,814,461
次期繰越損益金	4,456,181
(D) 受益権総口数	15,814,461口
1万口当り基準価額(C／D)	12,818円

* 期首における元本額は14,685,288円、当作成期間中における追加設定元本額は3,115,952円、同解約元本額は1,986,779円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,818円です。

■損益の状況

当期 自2021年8月4日 至2022年2月3日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3円
受取利息	3
(B) 有価証券売買損益	949,678
売買益	1,087,294
売買損	△ 137,616
(C) 信託報酬等	△ 171,711
(D) 当期損益金(A + B + C)	777,970
(E) 前期繰越損益金	425,592
(F) 追加信託差損益金	3,647,980
(配当等相当額)	(4,332,715)
(売買損益相当額)	(△ 684,735)
(G) 合計(D + E + F)	4,851,542
(H) 収益分配金	△ 395,361
次期繰越損益金(G + H)	4,456,181
追加信託差損益金	3,647,980
(配当等相当額)	(4,332,715)
(売買損益相当額)	(△ 684,735)
分配準備積立金	808,201

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	307,435円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	470,535
(c) 収益調整金	4,332,715
(d) 分配準備積立金	425,592
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	5,536,277
(f) 分配金	395,361
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	5,140,916
(h) 受益権総口数	15,814,461口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	250円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

運用報告書 第11期（決算日 2022年2月3日）

（作成対象期間 2021年8月4日～2022年2月3日）

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

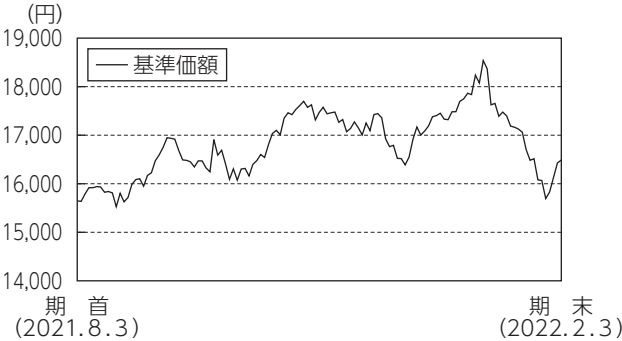
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のＤＲ
株 式 組 入 制 限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S & PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率		騰 落 率		騰 落 率				
(期首)2021年 8 月 3 日	円	%	円	%	円	%	%	%	%
8 月末	15,648	—	17,395	—	14,412	—	18.3	—	80.7
9 月末	16,226	3.7	17,436	0.2	14,987	4.0	18.0	—	79.7
10 月末	16,091	2.8	16,925	△2.7	14,743	2.3	17.4	—	80.6
11 月末	17,626	12.6	18,592	6.9	16,407	13.8	17.0	—	82.2
12 月末	16,764	7.1	17,272	△0.7	15,680	8.8	16.3	—	82.8
2022年 1 月末	18,237	16.5	18,392	5.7	17,149	19.0	15.6	—	83.7
2022年 2 月 3 日	15,829	1.2	16,591	△4.6	14,720	2.1	15.8	—	82.6
(期末)2022年 2 月 3 日	16,489	5.4	16,967	△2.5	15,285	6.1	16.0	—	82.7

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は、S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,648円 期末：16,489円 騰落率：5.4%

【基準価額の主な変動要因】

新型コロナウイルスのワクチン接種が進む中、経済正常化への期待感が高まり、当ファンドの主要投資対象であるオーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇し、基準価額は上昇しました。為替についても、オーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は上昇しました。

オーストラリア・リアルアセット市況は、当作成期首から2021年8月末にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展して

いることやおおむね堅調な決算発表が好感される形で、上昇傾向となりました。9月から10月前半にかけては、長期金利の上昇などを受けて軟調な展開となりましたが、10月後半から11月後半にかけては、ワクチン接種の進展などを背景に行動規制が緩和されて業績改善への期待感などが広がり、上昇しました。11月末から12月初めにかけては、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念が高まり下落しましたが、その後12月末にかけては、変異株への懸念が後退したことや好調な業績動向などが好感されたことなどから、上昇しました。2022年1月から当作成期末にかけては、高まるインフレ圧力を背景に金利が上昇傾向となって投資家のリスク回避姿勢が強まり、リートを含む株式市場全般が下落傾向となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2021年9月にかけてのオーストラリア・ドルは、対円でおおむね横ばいでの推移となりました。10月は、物価の上

昇などを背景に各国中央銀行が金融政策の調整に動き出す中、日本と主要先進国との金融政策の方向性の違いに注目が集まり、円は主要通貨に対して下落しました。オーストラリア・ドルは資源国通貨としてコモディティ価格の上昇がポジティブに働きやすいこともあり、対円で上昇しました。11月は、鉄鉱石価格が下落傾向となったことに加え、新型コロナウイルスの新たな変異株への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、対円で下落（円高）しました。12月は、鉄鉱石価格が反発したことや投資家心理の改善などを背景に、対円で上昇傾向となりました。2022年1月から当作成期末にかけては、世界的な投資家心理の悪化などを背景に、対円で下落傾向となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

◆ポートフォリオについて

傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リート
のCHARTER HALL GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	8円 (1) (7)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	12 (4) (8)
合 計	20

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2021年8月4日から2022年2月3日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	オーストラリア	百株 (—)	千オーストラリア・ドル (—)	百株 600	千オーストラリア・ドル 394
国	ニュージーランド	百株 (—)	千ニュージーランド・ドル (—)	百株 1,060.41	千ニュージーランド・ドル 414

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2021年8月4日から2022年2月3日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	オーストラリア	千口 210 (63.064)	千オーストラリア・ドル 934 (381)	千口 520.3 (—)	千オーストラリア・ドル 3,157 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2021年8月4日から2022年2月3日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
					ATLAS ARTERIA (オーストラリア)		60	32,432	540
					GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)		86.041	19,926	231
					CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)		20	11,835	591

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2021年8月4日から2022年2月3日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘	柄	口 数	金 額	平均単価	銘	柄	口 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
STOCKLAND (オーストラリア)		80	29,940	374	CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)		37	59,030	1,595
CENTURIA CAPITAL GROUP (オーストラリア)		95	26,486	278	ARENA REIT (オーストラリア)		137	50,220	366
INGENIA COMMUNITIES GROUP (オーストラリア)		20	10,363	518	GOODMAN GROUP (オーストラリア)		15.3	30,403	1,987
HOME CONSORTIUM (オーストラリア)		15	9,605	640	AVENTUS GROUP (オーストラリア)		65	18,503	284
					APA GROUP (オーストラリア)		20	15,310	765
					CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR (オーストラリア)		40	12,919	322
					GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR (オーストラリア)		32	11,547	360
					MIRVAC GROUP (オーストラリア)		44	10,494	238
					SYDNEY AIRPORT (オーストラリア)		15	10,236	682
					DEXUS/AU (オーストラリア)		12	10,030	835

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	799.65	799.65	207	16,934	公益事業
ATLAS ARTERIA	2,147.28	1,547.28	1,050	85,571	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	2,946.93 2銘柄	2,346.93 2銘柄	1,258 < 5.2%>	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	1,250	1,250	575	43,573	公益事業
MERCURY NZ LTD	290	290	162	12,328	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	1,974.72	1,114.31	317	24,066	公益事業
TRUSTPOWER LTD	116	116	81	6,179	公益事業
INFRATIL LTD	620	620	485	36,788	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	1,660	1,460	1,176	89,174	公益事業
ニュージーランド・ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	5,910.72 6銘柄	4,850.31 6銘柄	2,799 <10.8%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	8,857.65 8銘柄	7,197.24 8銘柄	— <16.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘 柄	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
DEXUS/AU	119	107	1,097	89,417
HOME CONSORTIUM LTD	—	15	98	8,002
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	167.668	131.032	517	42,156
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	143.076	121	9,905
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	60.517	30.517	119	9,768
AVENTUS GROUP	153.768	88.768	291	23,714
RURAL FUNDS GROUP	186.048	159.681	479	39,018
WAYPOINT REIT	31.797	29.831	82	6,730
CHARTER HALL LONG WALE REIT	95.91	98.906	484	39,473
CENTURIA OFFICE REIT	66.445	66.445	148	12,122
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	13	—	—	—
CENTURIA CAPITAL GROUP	91	186	569	46,358
TRANSURBAN GROUP	133.572	148.413	1,902	154,971
SYDNEY AIRPORT	44	29	252	20,549
APA GROUP	138.847	118.847	1,180	96,123
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	0.866	—	—	—
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	203.153	213.996	609	49,675
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	64.919	32.919	130	10,644
NATIONAL STORAGE REIT	243.002	247.656	621	50,630
SCXUS INDUSTRIA REIT STAPLED UNIT	37.348	37.348	118	9,673
SCENTRE GROUP	338	338	1,000	81,489

銘 柄	口 数	期 首		当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
ARENA REIT	千口	千口	千口	千円	千円
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	363.108	232.738	106.46	1,126	91,749
GPT GROUP	106.46	109.694	175.7	385	31,360
CHARTER HALL RETAIL REIT	175.7	175.7	30.601	874	71,267
MIRVAC GROUP	30.601	31.657	479	129	10,520
STOCKLAND	479	435	202.055	1,139	92,828
ABACUS PROPERTY GROUP	202.055	252.055	150	1,023	83,351
GOODMAN GROUP	150	150	110.6	520	42,394
VICINITY CENTRES	110.6	95.3	153	2,262	184,274
CHARTER HALL GROUP	153	153	151	251	20,499
INGENIA COMMUNITIES GROUP	151	114	40.244	1,942	158,221
オーストラリア・ドル 通 貨 計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,293.704 31銘柄	4,046.468 30銘柄	19,886 <82.3%>	1,619,771
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	67	5,116	5,116
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	52	3,994	3,994
ニュージーランド・ドル 通 貨 計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	79.972 2銘柄	120 < 0.5%>	9,111
合 計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,373.676 33銘柄	4,126.44 32銘柄	— <82.7%>	1,628,882

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年2月3日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円	%
投資信託証券	314,616	16.0
コール・ローン等、その他	1,628,882	82.7
投資信託財産総額	25,330	1.3
	1,968,829	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月3日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝81.45円、1ニュージーランド・ドル＝75.78円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（1,967,014千円）の投資信託財産総額（1,968,829千円）に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年2月3日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,968,829,511円
コール・ローン等	13,720,142
株式(評価額)	314,616,787
投資信託証券(評価額)	1,628,882,556
未収配当金	11,610,026
(B) 負債	377,248
未払解約金	60,978
その他未払費用	316,270
(C) 純資産総額(A - B)	1,968,452,263
元本	1,193,815,867
次期繰越損益金	774,636,396
(D) 受益権総口数	1,193,815,867口
1万口当り基準価額(C / D)	16,489円

* 期首における元本額は1,341,477,947円、当作成期間中における追加設定元本額は65,636,649円、同解約元本額は213,298,729円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用） 1,181,784,125円
 オーストラリア・リアルアセット・ファンド 12,031,742円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,489円です。

■損益の状況

当期 自2021年8月4日 至2022年2月3日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	38,449,681円
受取配当金	38,451,452
受取利息	26
支払利息	△ 1,797
(B) 有価証券売買損益	84,441,844
売買益	155,110,993
売買損	△ 70,669,149
(C) その他費用	△ 1,539,050
(D) 当期損益金(A + B + C)	121,352,475
(E) 前期繰越損益金	757,691,451
(F) 解約差損益金	△147,278,434
(G) 追加信託差損益金	42,870,904
(H) 合計(D + E + F + G)	774,636,396
次期繰越損益金(H)	774,636,396

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。